畜産 繁殖牛の繁殖障害について

畜　産
山川　将太郎
繁殖牛供給センター
080-1729-1624

最近の繁殖牛の繁殖成績を見てみますと、分娩後、６０日になっても発情がこないとか、人工授精を行ったが受胎しないとかいう話をよく耳にします。

その原因としていくつかの要因が考えられます。今回は繁殖障害と考えられる要因をご紹介いたします。

発情が来ない場合

微弱発情

外部兆候が少ない時、発情の見逃し等など考えられます。運動不足、日光浴、削蹄の有無などが要因となります。

離乳遅延

子牛の哺乳刺激により発情ホルモンの抑制がされます。制限哺乳・代用乳の利用など検討が必要です。

卵巣静止

飼料の乾物量の不足・カロリー不足など考えられます。

卵巣萎縮

粗飼料を充分給与してください。

黄体遺残

飼料の急変・粗悪飼料（カビ）の給与・産後の餌不足などによる肝機能障害が主な要因です。飼養管理を見直してください。

卵胞嚢種

飼料給与が不規則、太りすぎ、削痩中の牛に見られます。

授精しても受胎しない場合

排卵遅延

排卵が遅れたり、しない。ビタミンＡの不足が考えられます。

黄体形成不全

ビタミンＥの不足（酸化障害）などが主な要因です。

着床障害

発情が良好で黄体も良好であるが不受胎の場合、軽度の子宮内膜炎やタンパク過剰によります。でんぷんと夕ンパクのバランスの改善が必要です。

早期胚死滅

授精後６０日以内で、受精胚が死滅することです。高カロリー飼料の給与などが考えられます。

以上が繁殖障害の主な要因となります。繁殖障害は正常な飼養管理をしていれば改善できることだと思います。もう一度わが家の飼養管理を見直して、１年１産を目標に繁殖成績の向上に取り組んでください。

天草でがんばる 若い力（チカラ）

～豊かな天草を未来へ～

日本の社会問題になっている過疎化や高齢化など、経済的困窮と負のスパイラルを生み出している「限界集落」問題は、天草においても例外ではない。そんな現状でも農業で頑張る若いチカラを応援・紹介していきます。（取材日７月８日）

有明町　山口　裕さん

―現在の作業は何をしていますか

５月に植えた５６００株のオクラを７月初めから収穫しています。午前中に収穫すると痛みやすくなるので３時くらいから日が落ちるまで収穫・摘葉をしています。その後は選別作業に時間がかかるので９時位から夜中１時半まで選別・ネット詰めの作業をしています。

―初収穫の感想はいかがですか

地域の方にアドバイスを頂き、支えてもらいながらの初収穫でしたので感謝の気持ちと喜びでいっぱいです！

―実際に農作業してどう思いましたか

実際に体験してみないと分からない事がありました。栽培や収穫してみて10アールの圃場も広く感じました。

―今後やってみたい事は

将来はイチゴ栽培を中心に色んな作物の栽培にもチャレンジし、現在地域の方に支えてもらっているので、何かの形で少しでも恩返しできたらと思っています。

野菜 露地スナップ栽培

野　菜
田中　直
上島営農指導センター
080-1729-1636

1、作型

月	7	8	9	10	11	12
露地		○ ○ 播種	――	――	□□□□□□□□□□ 収穫	

2、圃場準備（ｋｇ／１０ａ当たり）

	N	P	K
基　肥	20 ～ 25	30 ～ 35	20 ～ 25
追　肥	3	3	3
合　計	１５	２０	１５

3、播種

播種例　　畝幅　　120 ～ 135 ｃｍ
　　株間　　10 ｃｍの１粒､2粒交互に播種し、ＭＫＫ等で覆土をします。

※降雨直前や、直後には播種は避けます。地温が高すぎると立枯れを起こすため注意しましょう。
地温を下げるマルチ資材　ミラーマルチ、白黒マルチ、敷き藁など。

4、潅水

生育初期は潅水を控え、強い根張りを促します。潅水チューブを使用する場合は株元を乾燥させるため、生育するにつれ株元から徐々に離していきます。収穫が始まると潅水量を増やしていきます。

5、整枝・摘花

採光、病害虫防除、樹作りの為 10 節ぐらいまでの側枝、花を摘み取ります。主枝１本仕立が基本となります。倒伏防止､品質･収量アップの為に必ずネットを張って誘引します。

6、収穫

莢の膨らみ７分が適期となります。収穫が遅れないようにしましょう。

7、その他

・樹、莢が凍るため霜には注意してください。
・病害虫はうどんこ病、灰色カビ病、ヨトウムシ、タバコガ、ハモグリバエに注意しましょう。
・目標草勢　花はダブルで大きいもの。茎は鉛筆より太く、葉は肉厚、丸葉で３対葉。
　芯は大きく横向きのもの。

果樹 ８月の柑橘園管理

果　樹
後藤　昇
下島営農指導センター
080-1729-1631

今月は高温乾燥に注意が必要です。乾燥が続くと果実肥大の抑制や害虫の発生が多くなる等影響が出てきます。効果的なかん水とマルチ等を活用し保水管理に努めて下さい。また、日焼け果の発生も出始めます。早めの日焼け対策をお願いします。

１．土壌水分管理

○温州みかん…タイベックを被覆していない園地では早急に実施し、品質の向上に努めましょう。

品　種	糖　度	生　産　対　応
極早生	8.5 ～ 8.9 度	少量かん水３ｔ以上／１０ａ　５日間隔
	8.0 ～ 8.4 度	現状維持
	8.0 度未満	乾燥ストレス促進
早　生	8.5 ～ 9.4 度	少量かん水３ｔ以上／１０ａ　５日間隔
	7.5 ～ 8.4 度	現状維持
	7.5 度未満	乾燥ストレス促進

○中晩柑…肥大の促進と内容充実の為、降雨がない場合は定期的にかん水を行って下さい。また、かん水後マルチ等を利用し保水対策に努めて下さい。かん水施設をお持ちの方は、３～４日おきに 10 ｔ／10 ａ程度のかん水を行って下さい。

２．仕上げ摘果の実施

全品種８月上旬をメドに仕上げ摘果を行って下さい。

品種名	目標階級	肥大目安	品種名	目標階級	肥大目安
極早生	M	４６ｍｍ	デコポン	２Ｌ	５０ｍｍ
早生	M	３９ｍｍ	河内晩柑	L	６３ｍｍ
普通	M	３２ｍｍ	パール柑	２Ｌ	７５ｍｍ
甘夏	２Ｌ	５７ｍｍ	清見	２Ｌ	４９ｍｍ

３．病害虫防除

乾燥傾向になるとハダニ類、アザミウマ類が発生しやすい状況となります。それぞれ防除を行っていない園では早急に防除を行いましょう。また、サンテ（白）をされる園でも必ず実施前にハダニ類、アザミウマ類の防除を行いましょう。カメムシの発生にも注意が必要です。

対象品種	対象病害虫	農薬名	希釈倍数	収穫前日数	備　考
温州・中晩柑	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600 倍	温　州　30 日前 中晩柑　90 日前	混用散布 中旬～下旬頃
	ミカンサビダニ チャノキイロアザミウマ	コテツフロアブル	4,000 倍	前日まで	
	カメムシ	スタークル顆粒水溶剤	4,000 倍	前日まで	発生時
		Ｍｒ．ジョーカー水和剤	2,000 倍	14 日前まで	

○ハダニ防除

農薬名	希釈倍数	ハダニ	サビダニ	ホコリダニ	収穫前日数	備考
バロックフロアブル	2,000 倍	○	○		14 日前	成虫に効果なし
ダニエモンフロアブル	4,000 倍	○	○	○	７日前	

４．果皮強化対策

デコポンや清見については、果皮強化対策としてカルシウム剤の定期的な　散布を行いましょう。また、日焼け果が多発する園や極早生等では日焼け果軽減としてバイカルティの散布をおすすめします。

○ジューシーカル　1,000 倍　又は　バイカルティ　1,000 倍（20 日おきに３回程度）